

能登半島地震災害支援対策委員会 ニュース 第2号

2024年3月22日発行

発行所 日本ホーリネス教団能登半島地震災害支援対策委員会
発行人 佐藤 義則 編集人 竹内 義晴
〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1
TEL 042-394-7466 FAX 042-392-2877

能登半島地震

引き続きお祈りください!

能登半島地震から間もなく3ヶ月が過ぎようとしています。各種報道を通して、災害状況から復興に向けた動きの状況について目にされ、祈りに覚えていてくださっていることと思います。

教団としても、第1報でお知らせしましたように、「能登半島地震支援対策委員会（以下、対策委員会）」を設置し、山田智朗緊急対策室長が「能登キリスト災害支援会」（能登ヘルプ）およびCrash-Japan、キリスト全国災害ネット（全キ災）とも連携しつつ、支援状況の現状把握や提言を行っています。

また、お願いしておりました

「災害支援献金」については、3月13日現在で、6,092,692円が献げられています。この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、3月19日、第二回の対策委員会を開催し、現地の状況についての情報共有と、ボランティアなどの支援活動および災害支援献金の扱いについて検討させていただきました。

◎ボランティアなどの支援活動について

現在、能登ヘルプが中心となって支援活動が進められています。良い働きがなされているものの、現在はまだ目の前の課題に追われている状況で各処からのボランティアを受け入れられる状況に至っていないと認識しています。

4月2日に次回情報共有会議が予定されている（山田室長が参加）ので、そこでの情報を受けて、4月中旬に第三回対策委員会を開催し、ボランティアについて引き続き審議することとさせていただきました。

ボランティアのことについてはもうしばらくお待ちください。

◎災害支援献金について

これまでに献げられています献金のうちから、まず第1弾として、100万円を、今後、ボランティア派遣した際にもお世話になるであろう「能登ヘルプ」に献金させていただくことといたしました。

残金につきましては、ボランティア支援費の必要額も不透明であり、継続検討とさせていただきます。「能登ヘルプ」への追加の献金、JEAを通して被災教会への献金の他、被災された方・教会に、より直接的に届けたいとの願いもあり、以下への献金についても検討をしております。

- ・被災された市の社会福祉協議会（輪島、珠洲、内灘など）
 - ・被災教会（聖書教会連盟に属する教会、日本基督教団の教会、珠洲市の教会など）
- なお、聖書教会連盟・七尾教会の牧師は東京聖書学院出身です。

まだ多くの方が避難所などでの避難生活を余儀なくされています。復興に向けた取り組みがスムーズに進められること、被災者の心と身体の健康が守られることを引き続き祈ってゆきたいと思います。

◎災害支援献金の送金先

（郵便振替）

00190-4-545635

（口座名）

日本ホーリネス教団緊急支援対策室

なお、ささげられた献金の5%を、今後の災害支援のために「緊急支援基金」に繰り入れさせていただきます。